

研究セミナー「PM_{2.5}の現在地：これまでわかったこと、そしてこれから」開催のご案内

微小粒子状物質（PM_{2.5}）の測定や分析は、2013年以降拡充され、データの蓄積がなされてきました。それによってPM_{2.5}の汚染実態が明らかになってきたとともに、最近では明確な低減傾向がみられてきています。また、測定や分析上の課題も浮かび上がってきました。こうした事実について情報共有し、今後の課題を考える機会として、本セミナーを企画しました。大学関係、学生、自治体職員、企業等、多くの皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

主催：日本エアロゾル学会・PM_{2.5}の化学特性に関する研究会、大気環境学会・都市大気エアロゾル分科会

共催：国立環境研究所と地方環境研究所等とのⅡ型共同研究「PM_{2.5}の環境基準超過をもたらす地域的／広域的汚染機構の解明」

日時：2019年3月19日（火）14時00分から16時30分（13時から受付開始）

会場：埼玉県環境科学国際センター 研修室1（埼玉県加須市上種足914）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/cess/shisetsu/annai/cess-koutsuannai.html>

プログラム：

13:20～13:50 施設見学（希望者）

14:00～14:05 開会挨拶

14:05～14:50 中国のPM_{2.5}生成過程に関する最近の話題と発生源寄与の推定
畠山 史郎 氏（埼玉県環境科学国際センター総長）

14:50～15:00 休憩

15:00～15:30 全国データに基づくPM_{2.5}の地域的特徴と汚染要因の考察
長谷川 就一 氏（埼玉県環境科学国際センター）

15:30～16:00 都市と郊外におけるPM_{2.5}と無機ガスの同時観測～NH₃と粒子生成～
熊谷 貴美代 氏（群馬県衛生環境研究所）

16:00～16:30 試料採取フィルターによるPM_{2.5}の無機元素の操作ブランク値の違い
本多 将俊 氏（環境省環境調査研修所）

16:30 閉会

※施設見学を希望される方は13:15までに会場へお越しください。また、研究会の終了後、鴻巣駅周辺にて懇親会（実費）を予定しています。

資料代：500円（受付にて当日徴収、学生無料）

定員：50人

参加申込：「①おなまえ、②ご所属、③見学希望の有無、④懇親会の出欠」を明記して、2月28日（木）までに電子メールでお申し込みください。電子メールの件名は「PM_{2.5}セミナー申込」にてお願いします。

申込・問合せ先：木戸瑞佳（富山県環境科学センター）mizuka.kido@eco.pref.toyama.jp

長谷川就一（埼玉県環境科学国際センター）hasegawa.shuichi@pref.saitama.lg.jp